

Q1. 応募後に審査のプロセスがあると認識していますが、どのようなポイントを重視されているのか、可能な範囲で教えていただけますでしょうか。

A1. 提案書の評価基準表を HP で公表しておりますのでご確認ください。

(https://www.city.toyama.lg.jp/res/projects/default_project/page/001/018/719/hyokaki_jyun.pdf)

Q2. 2次審査はプレゼンテーション審査とのことですが、オンライン参加は可能か。

A2. 2次審査は評価委員会によるヒアリングを実施することとしており、オンラインでの参加は認めておりません。なお、2次審査は6月29日(月)午後を予定しております。

Q3. 採択後、PoC は早くていつ頃から開始できますか。

A3. 採択事業者は7月中旬ごろに決定し、協定書の締結や補助金交付申請等を実施いただきますので、7月末か8月からの開始となる見込みです。

Q4. 実証フィールドの調整は、採択者が自ら行う必要がありますか。調整に関する富山のご支援はどういったものが期待できますでしょうか？

A4. 原則は採択者自らにて調整頂く必要があります。ただし、採択者が調整する場合に比べ、富山市から調整させて頂いた方がスムーズに調整できることが期待される場合(公的セッションへのヒアリングなど)については、できる限り、富山市において初回ヒアリング等を調整させていただきます。またワークショップ等の場所が必要な場合についても、日程の調整が付く限りにおいては、富山市が場所を提供させていただきます。

また定期的にミーティングを実施させていただき、事業の伴走についても実施させていただく予定です。

なお上記の内容については、調整の都合上、必ずしも採択者の要望に対応できない場合がある旨をご了承ください。

Q5. スタートアップ A 社(SCRUM-T 登録)と企業 B 社(SCRUM-T 未登録)で応募する場合に、SCRUM-T へは、企業 B 社側も登録する必要がありますでしょうか。

A5. 実施要綱上、提案者及び連携事業者は SCRUM-T の会員となって頂くことが前提となります。なお実証フィールドの提供や、資材提供、人材派遣などの実証事業の本質部分に関与せず、間接的な支援に留まる企業については、必ずしも SCRUM-T 会員にご登録いただく必要はありません。

Q6. 点と点を結び付けて面とするための提案をしたいと考えた時、既に点として先行しているサービス事業者との連携が必要となるが、サービス事業者(地場の企業)との仲介等でご支援頂けるか教えて下さい。

A6. SCRUM-T 会員企業はもちろんです。希望のある領域、企業と面談希望等があれば可能な範囲で調整をさせていただきます。

Q7. 実証後もサポートは受けることができますか。

A7. 補助金事業自体は単年度で終了となり、実証事業については令和9年2月28日までに完了いただく必要があります。実証後については、会員間のマッチングや会員種別に応じた会員特典等、SCRUM-Tの枠組みの中で協力できることについてサポートいたします。